

LENGE 70
報ビジネス 株式会社
Vision Vitality Victory
0061 東京都千代田区神田三崎町3-1-5
3 (3262) 3488 FAX 03 (5214) 6633
0054 大阪市中央区南本町1-8-14
6 (6262) 2406 FAX 06 (6262) 2090
会社クリエイティブ日報 出版部

8月18日 No.1738

2025年(令和7年)
週刊 月曜発行

発行人 河村 勝志

平成元年9月22日 第3種郵便物承認

購読料 年 間 26,500円+税
(定価) 1部本体 600円+税

週刊

循環経済新聞

JUNKAN KEIZAI The Recycling Economy Times

JEMS
増え続けるマニフェストに、
効率化の新しいカタチ
スマートマニフェスト
0120-857-493

来年4月に「防府工場」稼働へ

フラフ・RPF燃料を年2万5000t製造

ただおザウルス

ただおザウルス(山口県周南市、多田尾隆幸社長、0834・63・3279)は、山口県防府市の事業用地において、県内初となる最新設備(光学式選別機等)を導入した廃プラ混合廃棄物処理場「防府工場」を新設することを明らかにした。取得した約1万坪の敷地の内、3000坪に新工場を立ち上げ、建設中の混合廃棄物等を精選別する装置やフラフ・RPF燃料製造設備を導入する。フラフ・RPF燃料は、廃棄物を限りなく再資源化し、リサイクル製品の付加価値化を図る。同事業は、経済産業省の中小成長投資補助金に採択されており、対象の事業費15億円のうち、4・7億円の補助を受ける。すでに5月から工場を着工しており、来年3月までにプラントの竣工と設備許可取得を進め、来年4月からの本格稼働を目指す。初年度は7月3日、

度生産量は、RPFが年間5000t、フラフが同2万tを想定する。防府工場の破砕能力は、日量144t(24時間)で、受け入れ品目は▽廃プラスチック類▽金属くず▽ガラスくず▽陶磁器くず▽紙くず▽木くず▽繊維くず▽ゴムくず▽がれき類▽鋳さい▽燃えがら▽汚泥―とした。施設

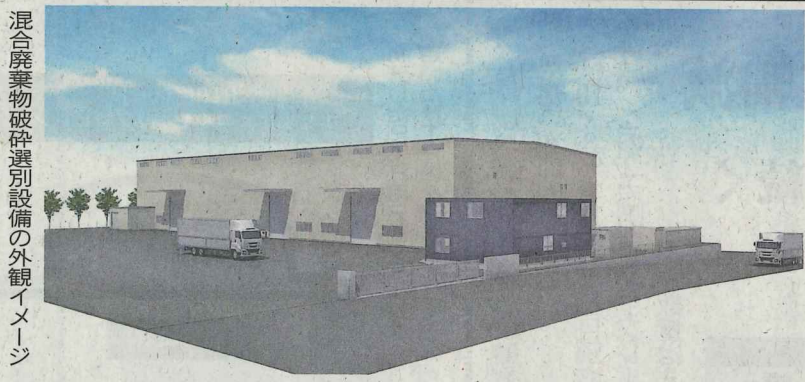
進行で製品化する。重量物については、手選別ライン、磁選機を経て、重量物専用の粉砕機で砕き、振動ふるい機でふるい分けを行う流れ。重量物のふるい下残や細粒物を、セメント燃料として出荷できる強みを持つ。重量物のラインでふるったオーバー材は、同社の光工場で分級する。同社は、補助事業(二期工事)の安定稼働を経て、約3年後を目途に二期工事を予定する。重量物の選別ラインに光学式選別機や精選別装置の増設等を計画しており、二期工事

と語り、新事業を通じて一地域をけん引するフロントランナーとなる製品を製造できる。品質の安定化により、ユニバーサルとともに脱炭素社会・循環型社会の統合的な実現を目指す」とした。

エコマイト生産拠点を開設

アール・アンド・イー

北海道内では初の施設に



再資源化や最終処分など総合処理事業を展開するアール・アンド・イー(北海道釧路市、伊藤淳社長)は、サーキュラーエコノミーを推進する一環で、札幌事業所(北海道北広島市、011・370・3232)に製鋼副産物「エコマイト」の生産プラントを開業した。コークスの代替品

となる製鋼副産物で、廃プラスチック類など特定の廃棄物由来の原料を成形して製品化するもので、脱炭素と資源循環の双方に効果がある。製品は円筒状で、大きさが直径3cm×長さ5cm、比重が1・25、炭素含有量が4・8割、強度が8万~12万等で、C

め錦バイオマスセンターを稼働していく」とし、広島ガスが来年度、今日の竣工に至ったと語った。来年度あきつで登壇した広島ガスの中川智彦社長は「当社は2023年11月、山口県森林組合連合会と『山口

具体的な取り組みとして、山口県東部の未利用林地を有効活用する木質バイオマス発電所を運営し、カーボンニュートラルや持続可能な社会に貢献できると考えている」と述べ、コンベヤー部分は三替エンジニアリング(広



エコマイト製造施設

そのうち北海道から循環資源利用促進設備整備補助で1億円の助成を受けた。2025年3月に設置許可および処分業許可を取得し、4月から本稼働を開始している。廃プラスチック類など各種可燃性廃棄物が主な処理品目で、年間5000tの製品を生産

中小企業の省エネ・脱炭素

日本商工会議所/東京商工会議所

実態調査の結果を公表

日本商工会議所・東京商工会議所は、「2025年度中小企業の省エネ・脱炭素に関する実態調査」の結果を公表した。エネルギー価格について回答企業が約9割(85・2%)が「経営に影響あり」と回答し、「影響は深刻で、今後の事業継続に不安」とする企業は排出量の把握・測定に取組んでいる企業

中国・四国 エリア特集 9~20面

産廃概況データ	9
太陽光パネルリサイクル特集	10
バイオマス資源の地域循環	11
ケミカルリサイクル最前線	12
木質バイオマス発電動向	14
産廃税の使途	15
建設廃棄物の現状と課題	18~19
地域で輝く企業の最新動向	20

を予定している。これまで処理困難物

ラス繊維、太陽光パネル、汚泥、ガラスウール、発泡ウレタン、塩化ビニル製品、海水や土の付着したプラスチック等も加工対象となる可能性がある点も特長だ。

エコマイトは、電炉メーカーでは鉄に炭素を加える加炭材、高炉メーカーでは製鉄時の溶洗工程での発泡現象を抑えるフォームリント抑制剤として用いられる。大龍商店が成形機メーカーとタイアップし、開発した独自の特許技術で、現在、同

環境省は、2023年度・食品ロス発生量の推計値が約464万tであることを明らかにした。前年の72万tを下回り、コロナ禍を経て減少傾向にある。自治体ごとの減量における取り組みで、頭を悩ませている品目の一つが「厨芥類」であり、とりわけ食品ロスの課題は大きい。一方で、食品ロス発生量の推移からみてとれるように、解決に向けて一歩、また一歩と着実に歩みを進めている。ある自治体は、厨芥類の減量に向け重点的に施策を講じ、市民の1日当たりのごみ排出量を5年間約100g減らした。SNSを駆使し、市民からごみ減量の取り組みを写真や動画で募るコンテストを開催するなどして、自治体と市民のタッチポイントを増やすことで「自分ごと」の浸透に成功していた。驚いたのが、その自治体がSNSで募ったごみ減量の投稿をみると、同郷だった同級生による発信があったことだ。消滅型の生ごみ処理器を使い、親子で毎月、生ごみを

RELEARN.
RESTART
YOUR WASTE.
OUR MISSION.
RECYCLE
Revolution Recycle.
MSC

廃棄物のご相談 何でも承ります。
121品目 処理可能
太洋サービ
053-447-4640
http://taiyo-ser.com